

— 原著 —

新潟大学医歯学総合病院医療連携口腔管理チーム /
治療部の診療実績と今後の課題について佐久間英伸^{1,2)}, 新美奏恵^{1,2)}, 黒川 亮^{1,3)}, 佐藤由美子⁴⁾, 勝良剛詞⁵⁾,
曾我麻里恵⁵⁾, 小林正治²⁾, 高木律男^{1,3)}¹⁾ 新潟大学医歯学総合病院 医療連携口腔管理治療部²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織再建口腔外科分野³⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野⁴⁾ 新潟大学医歯学総合病院 患者総合サポートセンター⁵⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野Achievements and future challenges for Oral Management team and Clinic for
Medical Cooperation at the Niigata University Medical and Dental HospitalHidenobu Sakuma^{1,2)}, Kanae Niimi^{1,2)}, Akira Kurokawa^{1,3)}, Yumiko Satou⁴⁾, Kouji Katsura⁵⁾,
Marie Soga⁵⁾, Tadaharu Kobayashi²⁾, Ritsuo Takagi^{1,3)}¹⁾ Oral Management Clinic for Medical Cooperation, Niigata University Medical and Dental Hospital²⁾ Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Faculty of Dentistry & Graduate School of Medical and Dental sciences,
Niigata University³⁾ Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate school of Medical and Dental Sciences⁴⁾ Patient Total Support Center, Niigata University Medical and Dental Hospital⁵⁾ Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Faculty of Dentistry & Graduate School of Medical and Dental sciences, Niigata University

令和2年10月5日受付 令和2年11月9日受理

キーワード：医療連携口腔管理チーム，周術期口腔機能管理，感染予防，粘膜炎対応，顎骨壊死対応

Abstract

The Niigata University Medical and Dental Hospital's Oral Management team for Medical Cooperation has been active since April 2020 as the Oral Management Clinic for Medical Cooperation. This report presents the results of a survey conducted with the aim of understanding the present activities of the team and identifying issues to be addressed in the future.

This retrospective study included patients who were referred to our team and our treatment department between January 2013 and June 2020. The medical records and treatment registers were analyzed to study the number of patients, purpose of the referral, and department of the primary disease.

The total number of new patients during the study period was 4,077, and the number of new patients increased each year. The most common reasons for referral were prevention of infection, treatment of mucositis, and prevention and treatment of osteonecrosis of the jaw. The highest number of referrals were from the Departments of Otorhinolaryngology and Head and Neck Surgery, followed by the Departments of Nephrology, Collagenology, Respiratory Infectious Diseases, Oncology, and Hematology.

Although the number of new patients increased every year, we were unable to intervene in all cases that required the management of oral function in the perioperative period. In the future, it will be necessary to establish a more efficient medical care coordination system within the hospital and to collaborate with local medical institutions to expand the scope of intervention.

和文抄録

新潟大学医歯学総合病院医療連携口腔管理チームは、2020年4月から医療連携口腔管理治療部として活動を行っている。今回、活動実態の把握と今後の課題を明らかにすることを目的に実態調査を行ったのでその結果を報告する。

対象は2013年1月～2020年6月の期間に当チームおよび当治療部を受診した患者とした。診療録および診療台帳を基に患者数、依頼目的、原疾患の診療科などを後方視的に調査・検討した。

調査期間における新患数は4,077人で、その数は経年的に増加していた。依頼目的は感染予防が最も多く、年々増加していた。粘膜炎対応、顎骨壊死予防・対応は増加ののち、一定数で推移していた。原疾患の診療科は耳鼻咽喉・頭頸部外科が最も多く、ついで、腎・膠原病内科、呼吸器感染症内科、腫瘍内科、血液内科であった。

新患数は年々増加していたが、周術期等口腔機能管理での介入が求められる全症例への介入には至っていなかった。今後は、介入対象の拡大に向け、より効率的な診療体制と病院内での協力体制の構築、地域医療機関との連携が必要であると考えられる。

【緒 言】

医療連携口腔管理治療部は、2011年に病院医療支援を目的に歯科系各専門診療科の協力者による診療班として口腔支持療法外来を開設したことを始まりとしている。2012年12月からは医歯学総合病院外来棟の統合移転を契機に医療連携口腔管理チーム（以下、当チーム）と名称を改め、人工関節置換術、心臓血管外科手術患者、ステロイド療法患者などの感染予防、頭頸部癌化学療法・放射線治療患者の粘膜炎対応、放射線性顎骨壊死・薬剤関連顎骨壊死への対応を主な対象として口腔管理を行ってきた。また、2017年8月に患者総合サポートセンター（以下、患サポ）が開設され、2018年1月からは患サポ経由での周術期口腔機能管理対象手術患者への口腔管理も行っている。そして、2020年4月からは医療連携口腔管理治療部（以下、当治療部）と名称および体制を変更し活動を継続している。

今回われわれは、これまでの活動実態の把握と今後の課題を明らかにすることを目的に実態調査を行ったので報告する。

【方 法】

2013年1月～2020年6月の期間に当チーム、当治療部を受診した患者を対象とした。診療録および診療台帳を基に患者数、依頼経路、原疾患の診療科、依頼目的を後方視的に調査した。依頼目的は1)人工関節置換術患者、心臓血管外科手術患者、ステロイド療法患者などの感染予防、2)頭頸部癌化学療法・放射線治療患者の粘膜炎対応、3)放射線性顎骨壊死・薬剤関連顎骨壊死患者への予防および対応、4)その他（補綴物脱離、義歯対応など）の4通りに分類した。また直近の活動状況を把握するため、2019年4月～2020年3月の1年間は各月の新患者数と予約数を診療台帳から後方視的に調査した。予約数は定期診察、口腔ケアでの予約数とした。

【結 果】

新患数の推移を図1に示す。復券による主治医からの依頼数は、2013年から2016年までは増加していたが、2016年以降は500例前後で推移していた。また、患サポ経由の新患数についても年々増加していた。2019年1～6月と2020年1～6月の新患数を表1に示す。当院では全国的なCOVID-19感染症拡大を受け、2020年4～6月の期間に歯科では診療制限を行ったが、この期間の当科における新患数は2019年の同時期と比べ同程度であった。

依頼目的別の患者数の集計結果を図2に示す。感染予防は2013年から2017年は100例前後で推移していたが、2018年に269例と急増し、2019年には、341例とさらに増加していた。2020年は6か月間の調査であるが既

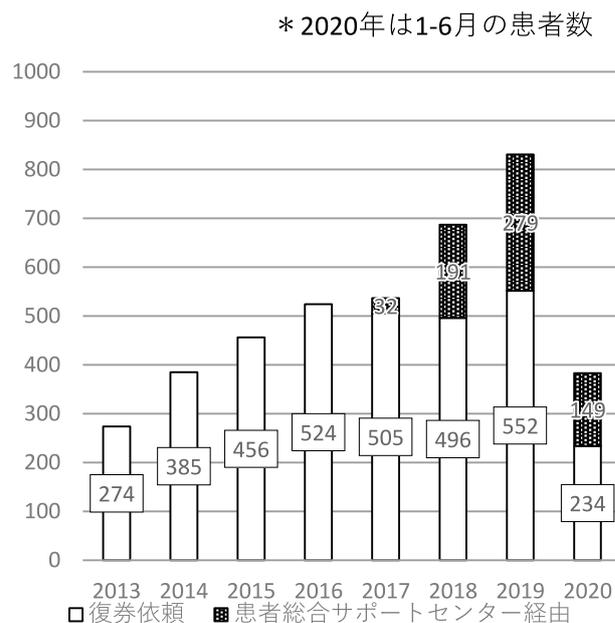


図1：新患数
患サポ：患者総合サポートセンター